

令和 7 年度県内投資促進課ホームページ「Hi! HIROSHIMA」
運用・保守を含むマーケティング等業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和 7 年 3 月 21 日（金）10 時 00 分から 11 時 25 分まで
2	場 所	本館 102 会議室
3	出席委員	商工労働局海外展開・投資促進担当部長 地域政策局中山間地域振興担当部長 総務局広報課 デジタル・ディレクター 総務局施策形成支援担当 デジタル・マーケター 総務局県庁情報システム担当 デザイン担当 商工労働局県内投資促進課長
4	議 題	令和 7 年度県内投資促進課ホームページ「Hi! HIROSHIMA」運用・保守を含むマーケティング等業務公募型プロポーザルに係る最優秀提案者の選定について
5	担当部署	広島県商工労働局県内投資促進課
6	開催方法	オンライン
7	議事内容	令和 7 年度県内投資促進課ホームページ「Hi! HIROSHIMA」運用・保守を含むマーケティング等業務委託先候補とする最優秀提案者の選定にあたり、次のとおり委員から評価・選定理由を確認した。 <u>1 クラシノ株式会社</u> （1）評価項目別意見 〔業務の具体的内容〕 ・県の意図を十分に理解しており、独自の考察を踏まえた方針提案となっている。 ・本県のやりたいことと一致した提案である。 〔マーケティング業務・営業活動支援〕 ・イベント出展施策は良いと思ったが課側の施策なので、発信はどういう形なのか見えなかった。海外ページはあるが発信がない印象。 ・的確な効果分析に基づいて、適切なマーケティング手法が提案されている。 ・既に誘致した企業からのアプローチは期待できるし、そういった取組をすべきだと感じた。 〔ホームページの運営・保守〕 ・運用面についてはこれまでの運用実績を踏まえ安心できるが、新コンテンツに関してはやや具体性に欠ける。 〔事業実施体制・スケジュール〕 ・マーケティングおよび営業活動支援の実施体制にやや不安が残る。 〔類似業務実績〕 ・十分な実績を有している。 （2）総括意見

- ・現状の企業誘致に係る課題把握を丁寧にしており、他県の効果的な事例を踏まえ、企業誘致に繋げるためのより効果的なアプローチの提案がされている。
- ・メルマガや SNS についても、定期的な発信とともに、職員のスキルアップも考慮した仕組みであり、評価できる。
- ・過去の業務実績に基づいた適切な提案となっている。
- ・取組に対する理解が深く、過去の実績、経験を踏まえた確度の高い提案であり、庁内連携も意識されており、意欲も高く、評価できる。
- ・課が行おうと思っている対企業向けのアプローチ（展示会や CRM など）を深く理解し、サポート業務はできる会社であると評価できる。ガイドブックなども高品質な印象。一方で発信していくという点が少なく、ナーチャリング施策においてもどこまで問い合わせや紹介数の KPI にどう紐づくのかが希薄と感じた。
- ・客観的なデータに基づいて、マーケティングの戦略から詳細なアクションまでが具体的に提案されている。
- ・本県の大きな課題である社会減を踏まえていることや、ユニコーン 10 との連携、既に誘致した企業からのアプローチなど、本県目線の提案であり評価できる。ただ一方で、この業務を通じて、当課の目標達成に大きく貢献してくれるとまでは判断できなかった。

2 株式会社広島朝日広告社

(1) 評価項目別意見

〔業務の具体的内容〕

- ・本県のやりたいことと一致した提案である。

〔マーケティング業務・営業活動支援〕

- ・HP の分析に特化した分析手法となっており、営業活動を含めた取組全体の効果検証になっていない。
- ・フォーム営業が効果的か分からないが、面白いと感じた。
- ・ターゲットやペルソナの考え方が明確

〔事業目的に応じたその他の提案〕

- ・ロコミの活用など、興味深い提案があった。

〔ホームページの運営・保守〕

- ・県が保有するサイト運用の実績があり、セキュリティ対策など含めて安心感がある。

〔類似業務実績〕

- ・イベント実施の経験は豊富だが、マーケティングや営業活動支援の業務経験について評価がしがたい。

(2) 総括意見

- ・ロコミやインスタの HP への埋め込みなど、新たな手法が提案されたことは評価できる。フォームマーケティングについて、回収率など詳細なデータがあればもっとよかった。

	・コンテンツ等のアイデアは評価できるが、250 件の相談件数に至る具体的な内容に乏しいと感じた。 ・全体的に無難な提案。プレゼンについては抽象的な表現が多く、実現可能性に不安が残る。 ・問い合わせ最大化とメルマガのナーチャリングまでの提案が具体的で、容易にイメージできた。今年度整備したリード企業の管理する体制と掛け算できそうな施策で試みたい内容であった。 ・多くの提案はあったものの、提案においてデータや数値に基づいた具体性に乏しい印象を受けた。 ・ターゲットやペルソナの考え方が明確であることに加えて、ロコミの活用など、興味深い提案であった。一方で、それ以外の点に関しては目新しい印象はなく、当課の事業がこの提案により、さらに推進していくことができるイメージを抱くことができなかった。
--	--